

## 社員14名で東北へ研修 (ゆりあげ) 被災地・宮城県閑上を視察

東日本大震災で8.4mの津波で住人5600名のうち756名が犠牲に



ご案内いただいたガイドさんは奥様と娘さんを津波で亡くされたとのこと  
「それぞれがまず高台に向けて逃げるように!!」とのメッセージが心に残りました

5/13(水)、東北研修の一環で社員14名が宮城県名取市の閑上（ゆりあげ）地区を訪問。ここは15年前の東日本大震災の際、8.4mの津波が襲来し、住人5,600人のうち756名が命を失った場所です。1960年5月のチリ地震の際、東北各地が津波被害を受ける中、閑上だけは無傷でした。そのことが「閑上には津波は来ない」という、間違った安全神話ができしまい被害が大きくなりました。また、防災無線が壊れており、住人に避難の案内ができなかったこと。一度避難をしたのに「家に忘れ物を」と取りに戻って犠牲になったこと、避難する車が渋滞してしまったこと、様々な要因で被害が大きくなった様子を学びました。南海トラフ地震が来ることが予想される私たちもいざという時に「自分のいのちは自分で守る!」「とにかく早く避難をする!」ことを徹底する大切さを学びました。

津波到達地点→

